

若葉総合高校 平成30年度 人間と社会 年間授業計画

教科・科目	人間と社会	単位数	1	対象年次	1・2	配当時数	35
教科書	人間と社会 (東京都教育委員会著 準教科書)	担当者	1・2年次 担任・副担任 人間と社会委員会				
補助教材							
指導目標	価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、形成した判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実を照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。						

※配当時間の丸数字は、体験活動の時間である。

月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1年次 4	第1章 人間関係を築く ＜演習・事前指導＞	○1年次に実施する「人間と社会」に関する全体ガイダンスクラス別に行う。 ○プロジェクトアドベンチャーの手法を用いたアクティビティに学ぶ。	＜演習＞については、出席状況、課題・レポートの提出及びその内容で評価する。 (課題意識・主体的な取り組み)	3
	第7章 選択し行動する ＜演習＞	○不安や失敗の経験から、より良い選択と行動とは何かを考える。  <u>社会的職業的自立を育むための体験活動</u> ＜体験活動＞ ●より深い人間関係を形成するためのアクティビティを、Project Adventure Japanと連携し、静岡県伊豆市所在のホテルワイナリーヒルズにおいて、プロジェクトアドベンチャーの手法を用いて体験する。	＜体験活動＞については、出席(参加)状況、生徒による自己評価及び指導教員による評価等を評価材料とする。 (主体的な取り組み・意識行動変容・貢献)	1  ⑥
5	第1章 人間関係を築く ＜演習・事後指導＞	○プロジェクトアドベンチャーの手法を用いたアクティビティ及び振り返りを通して、人間関係の構築方法と選択し行動することの大切さを理解する。	＜事後学習＞については、出席状況、生徒の報告書、クラスもしくは全体での発表・プレゼンテーション等の内容を評価の材料とする。 (主体的な取り組み・意識行動変容・課題意識)	1
7	第12章 地域社会を築く ＜演習・事前指導＞	○稲城市及び若葉台地域の歴史及び特色等について調べる。  <u>まちづくりの推進を図る活動</u> ＜体験活動＞ ●若葉台地区自治会で実施している美化活動に参加・協力する。		1  ②
11	第3章 働くことの意義 ＜演習・事前指導＞	○業種・職種についての理解を深める。 ○人間はなぜ働かなければならないかを考える。  <u>職業人インタビュー</u> ＜体験活動＞ ●NPO法人 16歳の仕事塾と連携し、職業人インタビューを体験する。		1  ②
2、3	第8章 チームで活動することの意義 ＜演習＞	○ドラマ手法を用いて、組織における役割分担やリーダーシップについて考える。		3
				以上20

2年次 4	第2章 学ぶことの意義 ＜演習・事前指導＞	○「高校生活で大切なこと」「高校生活で学ぶべきこと」について考える。	＜演習＞については、出席状況、課題・レポートの提出及びその内容で評価する。 (課題意識・主体的な取り組み)	2
6、7	第11章 支え合う社会 ＜演習＞	○発災時の対応について、自助及び共助の精神を高めるよう、稲城消防署員の指導の下、普通救命講習を行う。		4
7、8		<b>①学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動</b> ＜体験活動＞ ●稲城市内の小中学校に呼びかけ、合同練習会等を開催し、小中学生の指導に当たる。 <b>②様々な活動を行う団体等の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動</b> ＜体験活動＞ ●稲城市立中学校PTA連合会主催の合同高校説明会の運営補助を行う。	＜体験活動＞については、出席(参加)状況、生徒による自己評価及び指導教員による評価等を評価材料とする。 (主体的な取り組み・意識行動変容・貢献)	③ ③
9	第2章 学ぶことの意義 ＜演習・事後指導＞	○これから、何を大切に、どのように生きていくかを考える。	＜事後学習＞については、出席状況、生徒の報告書、クラスもしくは全体での発表・プレゼンテーション等の内容を評価の材料とする。 (主体的な取り組み・意識行動変容・課題意識)	1
11	第12章 地域社会を築く ＜演習・事前指導＞	○稲城市及び若葉台地域の産業及び特色等について調べる。		2
12		<b>まちづくりの推進を図る活動</b> ＜体験活動＞ ●若葉台地区自治会で実施している美化活動に参加・協力する。		②
2	第3章 働くことの意義 ＜演習・事前指導＞	○インターンシップ及びジョブシャドウイングの心構え、マナー等について学ぶ。  <b>③インターンシップ</b> <b>④ジョブシャドウイング</b> ＜体験活動＞ ●近隣企業と連携した現場体験を通して、働くことの意義を理解する。	以上、演習、体験活動及び事後学習における1年次・2年次の成果をについて、総合的に判断して評価を行う。	1 ③ ③
3		<b>※体験活動①、②、③、④については、いずれか一つを選択させ取り組ませる。</b>		
配 当 時 間 合 計				以上15 35